

小論文

令和

四年度

編入学試験問題用紙

〔一般選考 第二次〕

比較文化学部 比較文化学科

次の文章は、最上敏樹「いま平和とは―人権と人道をめぐる一話―」の一節である。これを読んで後の問い（問1～3）に答えなさい。

本部分については
著作権上の制約により
掲載することができません。

問1 【中略①】そして【中略②】の部分では、「たとえば」と始まって『構造的暴力』の具体例を挙げながら記述が進められている。筆者の主張をくみとった場合、どのような状況が『構造的暴力』に当てはまり得るだろうか。考えついた状況を三〇〇字以上六〇〇字以内で紹介しなさい。

問2 筆者の議論をうけて「平和」について考えたとき、あなたが最も重視する「平和」の問題とは何か。問題の詳細、そしてあなたがそれを最も重視する理由もあわせて二〇〇字以上四〇〇字以内で書きなさい。

問3 筆者が挙げた「平和」に限らず、言葉や用語の指す内容が時代とともに変化することは少なくない。そこで、「言葉の使われかた（意味）」の変化」をテーマに、五〇〇字以上一〇〇〇字以内で自由に論じなさい。なお、答案は二枚目に書くこと。